

草の根技術協力（地域活性化特別枠）事業提案書要約

I. 提案事業の概要	
1. 国名	インドネシア共和国
2. 事業名	南スラウェシ州バンタエン県バンタエン職業訓練校における自動車整備士指導者養成プロジェクト
3. 事業の背景と必要性	<p>現在、南スラウェシ州は同国の中で最も経済発展が進む地域のひとつとして注目され、モータリゼーションの進展も著しい。その一方で、整備士・整備設備が整った自動車整備工場が少ないため、自動車の整備不良による事故も少なからず起きている。また、成長と格差の問題も顕著になっており、経済発展を担う人材の育成は喫緊の課題として、バンタエン県では、工業技術に関する人材育成が重要施策として位置づけられている。</p> <p>自動車整備士指導者の養成事業は、将来にわたり需要が見込まれる高度専門的な人材の養成により、新たな雇用の創出、貧困の解消、若年層における失業者の解消にも寄与していくことが期待されており、同県のヌルディン知事が来日した際には、これまで実施団体が行ってきた同県を中心とした同国への中古緊急車両の寄贈事業と併せ、実施団体が持つ自動車整備に関する優れた技術・ノウハウを活かした人材育成を行って欲しいと直接の要望があった。</p>
4. プロジェクト目標	自動車整備に必要なとなる技術知識および実技を習得するための自動車整備学校が設置・運営され、自動車整備技術の人材が育成される。
5. 対象地域	南スラウェシ州バンタエン県
6. 受益者層 (人数規模)	<p>直接受益者：自動車整備士を目指すバンタエン県出身 SMK（工業高校）卒業生 16 名</p> <p>間接受益者：自動車整備を必要とする南スラウェシ州住民、事業者、自治体等</p>
7. 活動及び 期待される アウトプット	<p><アウトプット></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 自動車整備士を養成する学校（コース）が設置され、バンタエン職業訓練校によって運営される。 2. 自動車整備士が養成される。 3. 自動車整備士を指導できる人材が育成される。 <p><活動></p> <ol style="list-style-type: none"> 1-1. 自動車整備に必要な資機材を設置する。 1-2. バンタエン職業訓練校のカリキュラム・訓練を整備する。 2-1. 日本人専門家による技術・学科指導を行う。（インドネシア人指導者が養成された以降は、インドネシア人指導者による指導も行う。） 2-2. 初級レベルの技術・知識を身につけ、評価試験を実施する。 2-3. 研修者が車両整備の実技を学ぶための OJT として、車両整備の公共サービスを提供する。 3-1. 研修者のための日本での実技研修を愛媛トヨタトレーニングセンターで実施する。 3-2. 技術・知識、指導能力、カリキュラム作成能力に関する試験を実施する。
8. 実施期間	2016 年 1 月 ～ 2018 年 8 月
9. 事業費概算額	60,000 千円
10. 事業の実施体制	<p>提案自治体：愛媛県</p> <p>実施団体：愛媛トヨタ自動車株式会社</p> <p>協力対象機関：バンタエン県知事、労働省 訓練・生産性開発総局、バンタエン県 社会福祉・労働・移民局</p>
II. 応募団体の概要	
1. 団体名 (提案自治体)	<p>愛媛トヨタ自動車株式会社 (提案自治体) 愛媛県</p>
2. 対象国との関係、 協力実績	<p>実施団体は、2008 年にインドネシア人留学生のインターンシップを受け入れたことをきっかけに、同国との国際交流を展開し、愛媛県内の各自治体・消防団・民間企業等より引き取った法定償却済みの中古緊急車両の寄贈事業に取り組み、これまでに累計 60 台を同国に寄贈している（対象地域には 33 台）。</p> <p>提案自治体は、同国との交流を重視しており、2015 年 1 月には中村時広県知事が同国を訪問。その際、バンタエン県のヌルディン・アブドラ知事と面談。同年 3 月にはヌルディン知事が愛媛県を訪れ、中村知事への表敬訪問の際に、両地域間の交流拡大について協議するなど、行政レベルにおいても良好な関係を築いているところである。</p>